

# 都市 OS の経済分析

## ーデジタルガバメント特化型都市 OS の資金的持続性確保についての検討ー

○守木 悠太郎 / Moriki Yutaro

**Keywords** : スマートシティ、都市 OS、ガバメントクラウド、デジタルガバメント

### 1 目的

本研究の目的は、行政業務の効率化や行政サービスの利便性向上に資する都市 OS の実現可能性について明らかにすることである。具体的には、内閣府の「国と地方のシステムワーキング・グループ」において挙げられている都市 OS の「資金的持続性の確保」に焦点をあて、望ましい政策設計について検討・提言を行う。

### 2 方法

上述資料では、都市 OS にかかるコスト回収方法として複数の方法が提示されている。今回は、その一例である便益受益者と料金負担者が一致する「利用者課金方式」を想定し、調査票調査を行った。

具体的には、アンケート回答者をグルーピングしたうえで、仮想的な居住都市 x 市（あるいは区・町・村）を回答者に想定させ、都市 OS 導入によって実現するサービスに対する支払意思額の差異を CVM の付け根ゲーム方式によって確認した。また、得られた支払意思額と個人属性等のデータを使用し回帰分析を行い、支払意思額に影響を及ぼす要因について分析を行った。

グループの内訳は、①都市間連携が実現し居住都市のサービスが変化するグループ、②他都市で都市 OS が導入されたという情報のみを与え居住都市のサービスが変わらないグループ、③他都市では都市 OS が導入されておらず、居住都市のサービスが変わらないグループの 3 つである。

### 3 結果

分析の結果、それぞれのグループで実現するサービスに対する評価が異なることが明らかになった。このことから、都市 OS 実現のためには、他の都市との連携によるサービスの有効性の他、他の都市の導入有無によるバンドワゴン効果に関する示唆が得られた。

### 4 結論

利用者課金方式で、一定の導入・運用資金が得られる可能性が示唆された。今回の研究成果を踏まえた今後の展望として、上述資料内で提示されている他の回収方法の有用性・実現性について検討を行う。

#### 【主要参考文献】

- 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局. 「スマートシティの推進について」. 令和 3 年 4 月 23 日. <https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/wg6/20210423/pdf/shiryou1-1.pdf> (最終閲覧日 2022 年 6 月 8 日)